



報道発表資料の配付日時 3月23日(火) 13時00分

発表項目 (行事名)	官学連携事業に関する基本協定締結式の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>2050年ゼロカーボン北海道の実現に向け、再生可能エネルギー導入の取組みは重要であり、技術者の確保が課題。</p> <p>企業局と技術系教育機関が連携し、当局が所有する施設を活用して、再生可能エネルギー導入を担う技術者の育成に取り組む。</p> <p>1 取組内容 幌別ダム（登別市）において、維持流量を活用した小水力発電設備の導入を通じて、実践的な経験を積むことにより、技術者を育成する。</p> <p>2 官学連携事業に関する基本協定締結式の開催について 日時 令和3年3月30日（火）午前10時30分～（開場10時00分） 場所 室蘭工業大学 本部棟3階会議室 出席者 公営企業管理者 佐々木 誠也（ささき せいや） (締結者) 室蘭工業大学長 空閑 良壽（くが よしかず） 日本工学院北海道専門学校長 福井 誠（ふくい まこと） 北海道室蘭工業高等学校長 伊藤 正法（いとう まさのり） 内容 基本協定締結、写真撮影、質疑応答（記者会見）</p>		
参考	<p>○ <u>技術系の大学、高校、専門学校との連携</u>であり、<u>発電技術に関するアドバイス</u>を企業局が行う。</p> <p>○ また、<u>継続的な事業</u>として考えており、今後の取組実績を踏まえながら<u>地域における様々な再エネ導入に繋がるような人材育成事業</u>として展開していきます。</p>		
報道（取材） に当たって のお願い	○ 積極的な報道をお願いします。		
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	(場所)・胆振総合振興局記者クラブ	
担当 (連絡先)	企業局 発電課 (担当者：勝浦) TEL ダイヤルイン 011-204-5905 内線 32-759		

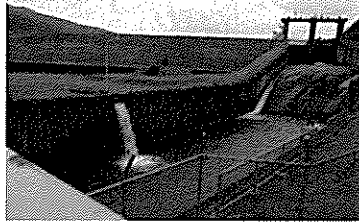
官学連携事業 ～地域新エネ・再エネ導入推進人材育成～

取組テーマ：幌別ダム維持流量活用小水力発電設備設置

地域の技術系教育機関

- ・ 室蘭工業大学
- ・ 日本工学院専門学校
- ・ 室蘭工業高等学校

学習プログラム活用等

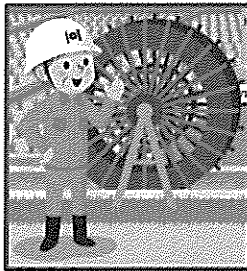


幌別ダム（登別市）

北海道企業局

- ・ 再エネ普及拡大に向けた取組（所管施設活用）

講師派遣、実務研修受入、関係機関協議、資材手配等



- 地域における新エネ・再エネ導入取組
- 継続的な技術者育成環境の整備
- ➔ 人材育成による地域貢献

令和3年度（2021年度）

詳細設計 [設計技術者育成]

[学] 実施設計・制御盤詳細設計

[官] 講師派遣・実務研修受入

令和4年度（2022年度）

施工計画 [設計技術者育成]

[学] 水車発電設備詳細設計・施工計画

[官] 講師派遣・実務研修受入

令和5年度（2023年度）

現地工事 [施工技術者育成]

[学] 設置作業・工事報告

[官] 講師派遣・実務研修受入

令和6年度（2024年度）～ 設備運用 [保守技術者育成]

[学] 教育用題材活用

[官] 発電設備運用

室蘭地区工業用水道事業について

室蘭地区工業用水道は、室蘭地区の工業地帯に工業用水を供給するため、昭和39年に着工、昭和42年に完成しました。

登別市幌別地区を流れる胆振幌別川の河口から上流約3km地点に築造した幌別ダム貯水池から取水し、登別市鷺別町の地点まで自然流下、鷺別ポンプ場で加圧を行い、室蘭の工業地帯へ工業用水を供給しています。

幌別ダム概要

北海道で唯一の工業用水専用ダムで、道内では数少ない「海が見えるダム」としても有名です。

貯水池は泉のように永遠に水が濁れることのないよう祈りを込めて「不盡（ふじん）湖」と名づけられました。

幌別ダム諸元

取水河川名	胆振幌別川水系胆振幌別川
取水位置	登別市川上町
取水能力	123,638m ³ /日
給水能力	115,000m ³ /日
ダム型式	中央土質遮水壁土石フィルダム
ダム高さ	22.50m
堤頂長	366.00m
堤頂幅	7.00m
堤頂標高	29.50m
堤体積	393,000m ³

